

第15回 寒さなんか 吹き飛ばせ!

氷点下まつり

ファイナル



力を合わせて勢いよく丸太を引く
(人間ばんば)

旗に向かってスライディング
(スノーフラッグス)



湖水まつりと並ぶ冬のイベント『氷点下まつり』が、2月13日、南ふらのスキー場特設会場で開催されました。

このイベントは、町の開基百周年を記念する事業の1つとして平成3年2月にスタート。第1回目は、山村広場を会場に「凧づくりコンテスト」のほか、地域別対抗での「カヌー競走」や「カンジキ競走」が行われ、冬の体力づくりとして千人もの町民が参加していました。

第2回以降は、会場をスキー場に移し、からまつ園とこざくら園の皆さんが大雪像を制作。「雪中トライアスロン」や「バイアスロン」「雪中むかで競走」など、競技種目にも工夫が凝らされてきました。

また、第3回目からは、町体育協会が「自作ソリ大会」と「前夜祭」を開催するようになり、町章を火文字にしたアイスキャンドルの灯火と、打上げ花火が夜のゲレンデに輝き、まつりを盛り上げていました。



優勝した「スパイディヤーマン2」(自作ソリ大会)

しかし、高齢化と過疎化により、第12回目からは地域別の参加を取りやめ、競技種目も一新して町外からの参加者も募集しましたが、大きな成果は上がらず、来場者は年々減少し、「前夜祭」も第11回目が最後となりました。

ファイナル

恒例の「人間ばんば」が呼びものとなり、15回目を数えた『氷点下まつり』は、残念ながら今回で最後を迎えました。

時折り小雪が舞う、氷点下の中、旭川市や札幌市などからも約500人の参加者が集まり、実行

ら25メートル先の旗を目指して猛ダッシュ。頭から飛び込む気迫に歓声が沸き起こりました。
名物「人間ばんば」には、昨年の半数8チームが出走。高さ1・5メートルの雪山が2箇所設けられた延長80メートルのコースに、丸太2本を乗せた重さ410キロのソリを息を切らせて引く過酷なレースに会場から大きな声援が送られていました。
また、恒例の「自作ソリ大会」では、干支のニワトリのほか、ゲームや映画のキャラクターを型どった7台のソリが出場。滑走中に変形したり分離するなど趣向の凝ったソリに観客から拍手が送られていました。
このほか会場では、ミニ雪像コンテストや犬ぞり体験、スノーラフティング体験も行われ、最後の「氷点下まつり」は惜しまれながら閉会しました。
参加された皆さんと、これまでご協力いただいた関係者の方々に紙上をもってお礼申し上げます。

準優勝した「マリオカートは新庄選手のブルペンカー」



寒さを忘れて盛り上がる会場

委員会の首慶一介副会長が「最後となるのは残念ですが、次に向かって新しいイベントを考えていきたい。今日は楽しみましよう。」と挨拶し開幕しました。
男女別に子供の部と一般の部が行われた「スノーフラッグス」では、ピストルの合図でうつ伏せの状態か



3位になった「世界のイチロー」

【スノーフラッグス】

- 一般の部男子
 - 優勝 笠井淳史(旭川)
 - 準優勝 見角雅輔(旭川)
 - 3位 きたかわよしひと(一般の部女子)
- 優勝 久保田志織(北落合)
- 準優勝 柿原加奈(富良野)
- 3位 見角祐美(旭川)
- 子どもの部男子
 - 優勝 見角直人(旭川)
 - 準優勝 依 晋吾(幾寅)
 - 3位 高橋翔平(幾寅)

【人間ばんば】

- 優勝 怪力アニマルズ(滝川)
- 準優勝 高 畠 一家(富良野)
- 3位 木下高速トンネルズ(落合)
- 特別賞 Air'G(龍太)
- オールスターズ(札幌)

【自作ソリ大会】

- 優勝 スパイディヤーマン2(南富自動車)
- クイックふらの店

【ミニ雪像コンテスト】

- 準優勝 マリオカートは新庄選手のブルペンカー(ロクホテルイチ)
- 3位 世界のイチロー(幾寅自工総合センター)
- 特別賞 我ら子だく産コケッコ家族(幾寅寿倶楽部)
- 優勝 兎のアーチ(スキー場をもちたてる会)
- 準優勝 ガチャピン(同会)
- 3位 ミニスズク(同会)

会場に立ち並んだミニ雪像

